
Licht Kreis

高田三郎作品による リヒトクライス第24回演奏会



高田三郎
(作曲家 1913-2000)



リヒトクライス

混声合唱団コーロ・ソフィア／女声合唱団コーロ・コスモス／しおさい／大井しらゆりコーラス／筑波大学混声合唱団／「水のいのち」の輪／「雛の春秋」の輪／葉山少年少女合唱団マリンハーモニー

1992年、鈴木茂明の指揮する5団体が高田三郎作品の精神と芸術性に共鳴して結成。以来、2000年に帰天されるまで毎年作曲者自身の指導を受け、高田作品の個展としての演奏会を開催し、24回目を迎える。「リヒト」はドイツ語で「光」を、「クライス」は同じく「輪」を意味する。プログラムは混声・女声・男声合唱曲、典礼聖歌、室内楽曲、オルガン曲など多岐にわたり、高田作品の真髄を味わえるとの評価は高い。

リヒトクライスに寄せて

何とすさまじい勢いで、私たちの住まうこの世界は変転してゆくことかと思えます。以前、自分にとっては是非ともなくてはならないバードやパレストリーナやモンテヴェルディの音楽が、完全に消滅してしまった一世界に属するもののように感じられると申しあげたことがあったと思いますが、自分の若い日には日常性のなかで馴染んでいたモーツァルトやシューベルトまでを何と私たちの現代の世界は次元の異なる領域へ置き去りにしてしまったことかを感じるのです。たんにおぞましい葛藤や抗争、あるいは酔い痴れた科学技術ばかりでなく、文明とか文化とかよばれるものそれ自体が、私たちが魂の故郷から遠くひき離されたところに住ませようとしているように思われてなりません。

徒らに過去を懐かしむわけではありませんが、いつかまた時が来れば総体としての人間が思い直すこともあるでしょう。そのときに辿るべき道すじを照らし出す松明を掲げつづけてくださっておいでなのが、鈴木茂明先生なのです。

清水 茂 (詩人・早稲田大学名誉教授)
リヒトクライス第22回演奏会プログラムより